

継続は力なり

Every single one of us is irreplaceable. We are one, family.

英語理数科 学科通信
第1号
令和7年4月9日発行
文責 英語理数科主任
名取涼子

英語理数科 経営重点

- 1 英語、理数系科目を中心に、質の高い発展的授業を提供し、科学的思考力と優れた人格を備えた生徒を育成する。
- 2 英語理数科の諸行事を通して、自らの進路を前向きに考え、意欲的に学業に取り組む姿勢を育成する
- 3 部活動および校内外の活動に積極的に取り組ませ、心身のバランスの取れた生徒を育成する
- 4 異文化コミュニケーションを通じて、生徒の国際感覚を育成する
- 5 地域と連携して行う英理科独自の諸行事を通じて、地域社会への深い愛情と理解のある生徒を育成する
- 6 東京大学、都留文科大学等との行事を通じ、高大接続を推進する

英語理数科として目指す目標

- 1 科学的思考力を備え、日々の授業・家庭学習に一生懸命取り組める生徒
- 2 進路について真剣に考え、実現のために一生懸命取り組める生徒
- 3 部活動やボランティア活動に積極的に取り組める生徒
- 4 グローバルな視野と豊かな人間性を備えた生徒
- 5 地域の小中学校や人々と関わり合う中で、地域社会での役割を意識できる生徒
- 6 東京大学、都留文科大学等の交流行事から多くを学び、自らの将来に活かそうとする生徒

英語理数科スタッフ紹介

氏名	小田切瑞生（おたぎりみずき）	山浦ちあき（やまうらちあき）	木田昌宏（きだまさひろ）
所属	1学年正担任	1学年副担任	2学年正担任
教科	地理歴史・公民	英語	英語
職員室	1F 進路指導室	1F 図書準備室	2F 中央職員室
メッセージ	「人間は考える葦である」、英理科での日々の中で自分の進路や社会を考えてみよう。	皆さんの可能性は無限大です。様々なことに挑戦・努力して、自分の力を高めていきましょう！	昨年度に引き続き英語理数科の担任となりました。今年度もがんばりましょう！

氏名	森屋美和（もりやみわ）	名取涼子（なとりりょうこ）	藤江康正（ふじえやすまさ）
所属	2学年副担任	英理科主任・3学年正担任	3学年副担任
教科	国語	英語	理科
職員室	1F 図書準備室	2F 中央職員室	2F 中央職員室
メッセージ	「陰徳あれば陽報あり」誰かがきっと見ています。努力は報われると信じて頑張りましょう！	「継続は力なり、継続こそ力なり」英語理数科として、志高く自分を高める1年にしよう！！	努力は人を裏切らない。できない言い訳をしない。マイペースを崩さない。

年間計画

日程	行事	目的	対象学年
5 月 10 日	土曜学習会①	学力伸長	全学年
5 月 17 日	土曜学習会②	学力伸長	全学年
6 月 14 日	土曜学習会③	学力伸長	全学年
6 月 21 日	土曜学習会④	学力伸長	全学年
6 月 28 日	土曜学習会⑤	学力伸長	全学年
7 月 19 日 (土) ・20 日 (日)	アカデミックキャンプ(1泊2日 鳴沢村)	学力伸長	全学年
7 月 11 日 (金)	東京大学 金曜特別講義(オンライン)	豊かな叡智	全学年
7 月 ~ 8 月	夏季課外	学力伸長	全学年
8 月 11 日	親子ふれあい教室(サイエンス)	地域貢献	2学年
9 月 6 日	English Workshop~FALL SESSION~	英語力	全学年
9 月 27 日	土曜学習会⑦	学力伸長	全学年
10 月 4 日	土曜学習会⑧	学力伸長	全学年
10 月 16 日	1・2年英語理数科大学見学会	豊かな叡智	1・2年
10 月 25 日	土曜学習会⑨	学力伸長	全学年
11 月 22 日	土曜学習会⑩	学力伸長	全学年
11 月	つる産業まつり出展	地域貢献	1学年
12 月 13 日	土曜学習会⑪	学力伸長	全学年
12 月 20 日	English Workshop~WINTER SESSION~	英語力	1・2年
12 月	冬季課外	学力伸長	全学年
1 月 17 日 (土) ・18 日 (日)	3年大学入学共通テスト	学力伸長	3年
1 月 24 日	1・2年土曜学習会⑬	学力伸長	1・2年
2 月 7 日 (土)	教育実践公開発表会 発表	魅力発信	1・2年
2 月 13 日 (金)	1・2年進路講演会	学力伸長	1・2年
2 月 14 日	1・2年土曜学習会⑭	学力伸長	1・2年
3 月 7 日	1・2年土曜学習会⑮	学力伸長	1・2年
3 月 14 日	1・2年土曜学習会⑯	学力伸長	1・2年
3 月 16 日 (月) ・17 日 (火)	令和7年度 英理科多様性 WEEK(各種講演会)	豊かな叡智	1・2年

英語理数科主任より

1年生の皆さん、英語理数科への入学おめでとうございます。2・3年生の皆さんについては、進級おめでとうございます。皆さんに問います。「普通科ではなく、英語理数科を選んだのはなぜですか？」答えを心に思い浮かべてください。……おそらく、「レベルの高い学習に挑戦したい」「国公立大学に進学したい」という思いですね。皆さんの誰もが、より広く深い学びを求めて、英語理数科を受験したことと思います。その期待に応えるべく、英理科の先生方は、皆さんの高校生活が学びと成長に満ちたものになるよう、学科の学びの環境を整えていきます。皆さんも将来ここを巣立っていくときに、充実感や達成感に満ちた気持ちで卒業の日を迎えられるよう、今の晴れやかな初心を忘れず、ともに歩いていきましょう。

逆に言えば、先生方にできることは「進むべき道を示し、環境を整える」ことだけです。ネイティブスピーカーと話せる機会

を設けたり、大学を見に行く機会を設定したり、今年は宿泊学習会も計画したり。英語運用能力と科学的思考を鍛えるべく、整えられた環境の中で、さて……どれだけ自分を磨き上げられるかは、皆自身にかかっています。「英理科にいれば自動的に勉強ができるようになる」のではないと、英理科主任として初めに言うておきます。

高校生活をより充実させるために、皆さんに持ち続けてほしいマインドがあります。皆さんは作家の「村上春樹」を知っていますか？村上さんは世界的作家として有名ですが、実は月に250km~300km走る市民ランナーとしての一面があります。氏の著書「走ることにして語るときに僕の語ることに、このような一節があります。

たとえ絶対的な練習量は落としても、休みは二日続けないというのが、走り込み期間における基本的ルールだ。筋肉は覚えの良い使役動物に似ている。注意深く段階的に負荷をかけていけば、筋肉はそれに耐えられるように自然に適応していく。「これだけの仕事をやってもらわなければ困るんだよ」と実例を示しながら繰り返して説得すれば、相手も「ようがす」とその要求に合わせて徐々に力をつけていく。もちろん時間はかかる。無理にこきつかえば故障してしまう。しかし時間さえかけてやれば、そして段階的に物事を進めていけば、文句も言わず(ときどきむずかしい顔はするが)、我慢強く、それなりに従順に強度を高めていく。「これだけの作業をこなさなくちゃいけないんだ」という記憶が、反復によって筋肉にインプットされていくわけだ。我々の筋肉はずいぶん律儀なパーソナリティーの持ち主なのだ。こちらが正しい手順さえ踏めば、文句は言わない。

しかし負荷が何日か続けてかからないでいると、「あれ、もうあそこまでがんばる必要はなくなったんだな。あーよかった」と自動的に筋肉は判断して、限界値を落としていく。筋肉だって生身の動物と同じで、できれば楽をして暮らしたいと思っているから、負荷が与えられなくなれば、安心して記憶を解除していく。そしていったん解除された記憶をインプットしなおすには、もう一度同じ行程を頭から繰り返さなくてはならない。もちろん息抜きは必要だ。しかしレースを目前に控えたこの重要な時期には、筋肉に対してしっかりと引導を渡しておく必要がある。「これは生半可なことじゃないんだからな」という曇りのないメッセージを相手に伝えておかななくてはならない。パンクしない程度に、しかし容赦のない緊張関係を維持しておかななくてはならない。このへんの駆け引きは、経験を積んだランナーならみんな自然に心得ている。

出典:村上春樹「走ることにして語るときに僕の語ることに」文春文庫

気持ち次第で自分を変えられるのです。

マラソンだけでなく、勉強も同じ。**高校生の1日の平均勉強時間は「自分の学年+2時間」**です。試験前ではなく日々の勉強として。「多い」と感じるかもしれませんが、大学入試は厳しい。厳しい入試を突破し、志望校に合格するためには、当たり前とそのくらいの学習時間が必要です。高校で覚えるべき英単語は5000語、歴史の用語も5000語。覚えるだけでなく、その知識を使って問題が解けなければなりません。理科や数学の教科書は中学校と比較にならない厚さです。高校での学びは広く深く、険しい道のりですが、進路実現のため、3年生は当然のこと、1年生も2年生も、まずは目の前の学習に全力で取り組んでください。まずは机に向かい、前の学年で学習したことの復習から。日々の習慣付けが大切です。辛くなっても「自分ではできる」と自分を鼓舞しながら、村上春樹のように——「覚えの良い使役動物」である自分自身の体に「これだけの仕事(勉強)をしてもらわなければ困るんだよ」と言い聞かせて、取り組んでいきましょう。

苦しくもつらくても、学校へ来れば、英語理数科45名のファミリーがいます。**「一人じゃないから頑張れる」**そんな英理科を作り上げていきましょう!!